

大庄中だより

令和5年 5月 9日
尼崎市立大庄中学校
校長 徳山 壮一 No.2

修学旅行 in 長崎・福岡・佐賀

『～輝く18期生～ 3Cを達成しよう!!!』



challenge (挑戦)
connect (繋がり)
confidence (信頼)

この素晴らしいスローガンのもと九州へ。長崎市内班別行動学習・平和学習(平和セシモニー・原爆資料館見学)・民泊体

験・太宰府天満宮散策……。修学旅行を通して、多くのことを学び、学級・学年の仲間、そして、先生方との絆を深めることができました。3年生の皆さん一人一人の努力と全員の心を一つに協力することで、最高に思い出に残る素晴らしい修学旅行にすることができました。皆さんには、大きな伸びしろを感じています。そして、皆さんは、天をも味方にする強い運を持っています。自分の可能性を信じて、学級・学年の仲間や先生方とともに顔晴っていきましょう。ずっと応援していきます。



令和5年度 生徒努力目標

令和5年度 生徒努力目標

時を守り
場を清め
礼を正す

尼崎市立大庄中学校

皆さんが素晴らしい生徒に成長するために、そして、素晴らしい大庄中学校を作り上げていくために、この言葉を実践することが大切だと思い、令和5年度の生徒努力目標としました。この目標の達成を目指していきましょう。そのためには、**小さなことを積み重ねること。**

時を守りとは、時間・約束を守ることです。時間・約束を守ることは、相手を大切にすることにつながります。また自分自身の信用を積み重ねていくことにもつながります。皆さんに今すぐ顔晴って欲しいことは、全ての予定の開始3分前に姿勢を正し、心を静め、開始を待つことです。

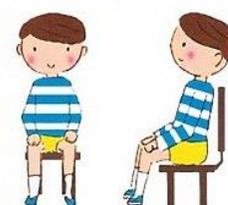
場を清めとは、掃除をすることです。掃除をすることで自分自身の心を磨くことができます。自分の心を磨けば磨くほど「謙虚な人」「周囲に気づく人」「感動の心を持つ人」「感謝の気持ちを持つ人」に成長することができます。皆さんに今すぐ顔晴って欲しいことは、落ちていたゴミを一つでも拾うことです。一つ拾えば一つ心がきれいになります。

礼を正すとは、あいさつ・返事をすることです。あいさつ・返事は、人間関係を良くする魔法の言葉です。皆さんに今すぐ顔晴って欲しいことは、明るく元気な声で相手の目を見て相手が気持ちよくなるあいさつ・返事をすることです。

5月8日 朝礼 校長講話

立腰 で 元気100%!

『立腰(りつよう)』とは、文字通り、腰骨を立てて、背筋を伸ばして座ることです。



- STEP1 足の裏を床につける。
- STEP2 お尻を後ろ方に引き、腰骨をぐっと前に出す。
- STEP3 肩や腕の力を抜き、下腹に力を入れあごを引く。

頭の上から糸で引っ張られているというイメージです。

『立腰(りつよう)』は、心身ともに効果があります。

- ①やる気が起こる ②集中力がつく ③持続力がつく
- ④頭が良くなる ⑤勉強が楽しくなる ⑥成績が良くなる
- ⑦行動が機敏になる ⑧バランス感覚が良くなる
- ⑨内臓の動きが良くなる ⑩スタイルが良くなる

背筋を伸ばす良い姿勢で生活すると、「元気が出ます。」皆さん『立腰』を心がけよう。 5月8日 朝礼 校長講話

平和宣言 平和セシモニー



僕たちは、中学校で平和学習の時間を通し、戦争について学んできました。その中で『ナガサキの少女』という映像を鑑賞したのですが、僕は、「正直、現実とは思えない程、むごくて残忍だ」と感じました。7000℃の火で焼かれ、一瞬で灰になった人々、焼けただれた皮膚や飛び出た目のまま何日も苦しみ亡くなった人々……。想像を絶する原爆の恐ろしい威力は、直視できない悲惨な光景と痛みを生んだ事を、被爆者の方が語っておられました。何のルールも限度もない戦争により、多くの尊い命が失われ、生き残った方々も様々な後遺症や心の傷に苦しみ続けているというのに、世界では、今もなお、戦争が続いています。今、僕たちにできることは、唯一の被爆国である日本が、原爆の恐ろしさを決して忘れることなく後世に語り継ぎ、この世界で二度と同じ悲劇を繰り返さないよう、声を上げていくことだと思います。その平和への願いと祈りを込めて、みんなで一つ一つ折りあげた千羽鶴を、今日、ここ平和祈念像に奉納します。決して傍観者にならず、一人一人が強く平和を願い、尊び、誰もが安心して暮らせる世界を築けるよう努力していくことを、ここに誓います。 修学旅行実行委員 高崎 好陽

